

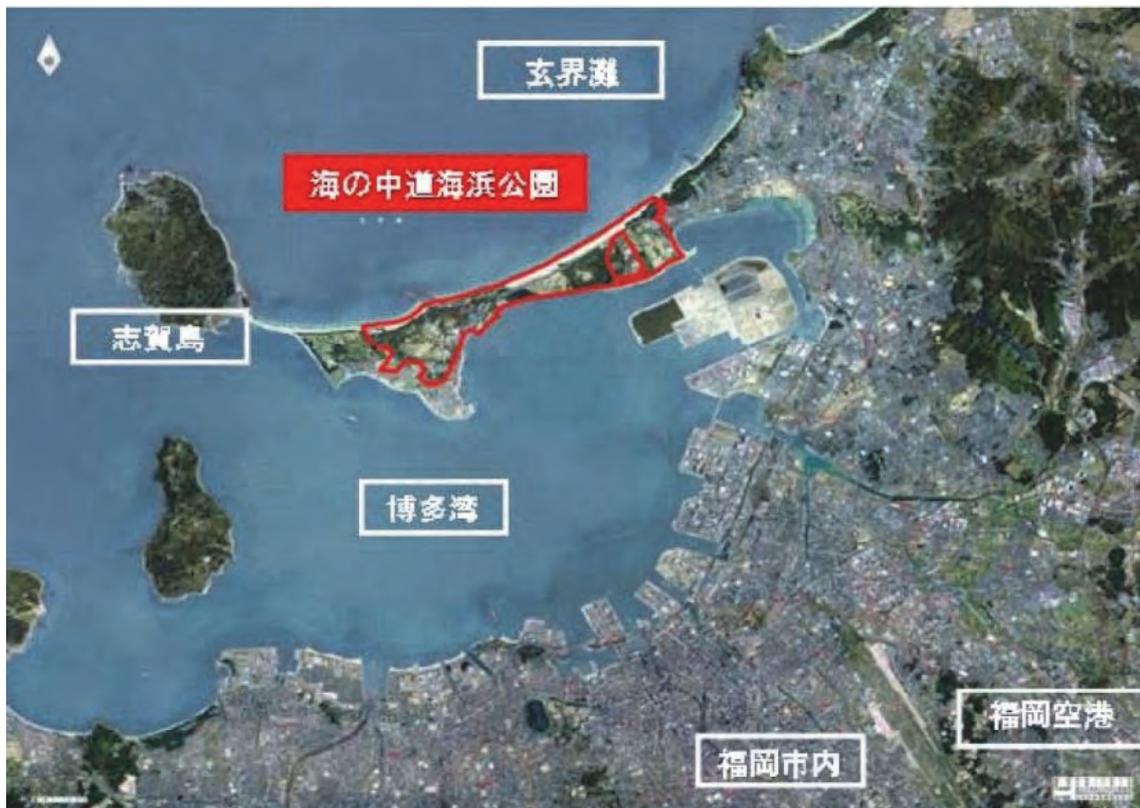
④国営海の中道海浜公園

国営海の中道海浜公園は、玄界灘と博多湾を隔てて志賀島へ伸びる半島「海の中道」中央部(福岡県福岡市東区西戸崎)に、幅 0.5～1 km、長さ約 6 kmの区間にわたって位置している。

北部九州における広域的レクリエーション利用、「白砂青松」の良好な自然環境の保全を目的とし、整備された。

■区分	イ	(設置目的)	—
■所在地	福岡県福岡市		
■面積	計画面積	539ha	
	開園面積	298ha	

■広域図





■年表

S47(1972).6.10	米軍博多基地返還(147.6ha)
S47(1972).11.30	米軍博多基地返還(368.2ha)
S50(1975).1	都市計画決定
S51(1976).12	事業着手
S56(1981).10.20	C地区 西口広場、大芝生広場、動物の森供用開始(69ha)
S58(1983).4.1	C地区 野鳥の森供用開始(67ha)
S58(1983).6.24	C地区 サンシャインプール供用開始(73ha)
S59(1984)~61(1986)	C地区 子供の広場供用開始(102ha)
S62(1987).4.25	C地区 宿泊研修施設供用開始(116ha)
H1(1989)・7(1995)	D地区 青少年海の家、C地区マリンワールド(海洋生態科学館)供用開始(189ha)
H11(1999).4.12	C地区 いこいの森(森の家)供用開始(206ha)
H14(2002).3.21	B地区 光と風の広場(デイキャンプ場)供用開始(230ha)
H17(2005).3.19	D地区 潮見台エリア供用開始(249ha)
H22(2010).3.20	B地区 環境共生の森(みらいの森)供用開始(265ha)
H23(2011).3.19	D地区 海の松原(玄界灘海浜部中央部及び西部)供用開始(292ha)
H25(2013)	C地区 中央駐車場供用開始(294ha)
H28(2016)	B地区 博多湾パノラマ広場供用開始(298ha)

■コンセプト

テーマ	「緑の樹林」「碧い海」「輝く太陽」
理念	
基本方針	<p>①公園の特色ある地形、すなわち、海の中道と称される細長い半島と、その歴史、文化的背景に留意し、現状の自然を尊重するとともに、修景技術を導入して、自然の中に、自然と人との楽しい関わりあいを求めることを基調とする。</p> <p>②野外のレクリエーションを気軽に楽しみ、また自然環境の中にあつて、自然学習の研修の場とする。</p> <p>③既存の自然を生かしながら、緑、芝生、花、池、丘などによって、新たなランドスケープを造成する。</p>

■施設

西口広場エリア	西口広場・スカイシェルター	古代ギリシャの神殿を彷彿させるスカイシェルターからは、カナルをはじめとする公園全体を一望することができる。
	虹・彩りの池	池の周辺には花壇があり、春・秋にはカラフルな花を楽しむことができる。池のコイにエサをあげることもできる(100円)。
	虹・彩りの花壇	虹の池・彩りの池周辺に広がる花壇。 春にはカラフルなチューリップ、秋は季節の草花を楽しむことができる。
	おもちゃ箱花壇	ニホンスイセンやウメ・モモ・オオシマザクラなど早春から春にかけて花を楽しめるエリア。秋にはヒガンバナを楽しむこともできる。
	カナル、西口(管理棟)、西サイクリングセンター(サイクリングセンター)、水辺の広場レストハウス	
フラワーミュージアム・大芝生広場エリア	大芝生広場レストハウス	軽食の提供や、ディスクゴルフやパターゴルフの受付・用具の貸出を行っている。温水シャワーも利用できる。
	フラワーミュージアム	「屋根のない花の美術館」をテーマに、10の異なるエリアで構成された空間。四季折々に移り変わる花壇の表情を楽しめるほか、企画展示などを通じてスタッフおすすめの品種を紹介している。
	バラ園	4,000㎡の敷地の中にたくさんのバラがある。(春:220品種 1,800株、秋:170品種 1,200株)
	花の丘	大芝生広場に広がる15,000㎡もの広大な花畑で、春は「ネモフィラ(和名:瑠璃唐草)」秋は「コスモス」を楽しむことができる。
	大芝生広場	シンボリック存在「スカイドルフィン」がある。
	スカイドルフィン	飛び跳ねるイルカをイメージした遊具。ユニバーサルデザインで作られ、車椅子の方も一緒に遊ぶことができる。3歳～12歳以下のお子様利用対象。

子供の広場・サンシャインプール・野外劇場エリア	子供の広場管理棟	小さい子どもの遊び場や、段ボール迷路などを設置した「ちびっこスクスペース」があるほか、看護師が常駐している。
	野外劇場	円形のすり鉢状に広がる芝生のエリア。約2万人を収容でき、野外コンサートやバンド演奏会、演劇など各種イベントに利用できる本格的な野外劇場。
	花栈敷	子供の広場の中央にあり、春と秋の年2回、季節の花で彩られる。面積約5,000㎡の大きな花壇には、舗装された散策路が設けられ、誰でも散歩を楽しめる。
	シンフォニーガーデン	約250種の宿根草や1,2年草の組み合わせにより、織物のように絶妙に調和した色合いのガーデナー向けのボーダーガーデンを展開。花修景園芸家の毛利氏と共にフラワーボランティアが『安・楽・長(安く、楽に、長く花を楽しむ花修景)』をテーマに管理を行っている。
	あじさいの小径	ワンダーワールドロから海の中道駅口にかけて園路脇の松林の林床に約1万株のアジサイが植えられている。梅雨から初夏にかけて次々と咲き、艶やかな姿が楽しめる。春には、小径沿いにソメイヨシノを楽しめる。
	子供の広場	くじらぐも”ふわんポリン”やスナッグ・健康遊具、遊べる噴水、子供のとりで(展望台)、ローラーすべり台と海の生き物遊具、水辺のトリム、ちびっこ広場、じゃぶじゃぶ池、森のトリムなどがある。
	ワンダーワールド	ゴーカートやミニSL機関車、F1バッテリーカー、迷路、日本の名車歴史館、その他の遊具など有料の遊具で遊べる。
	サンシャインプール	夏の間、期間限定でオープンする。チューブの中を滑り降りるドラゴンスライダーをはじめ、流水プールやユニバーサルデザインのウォータージングルなど、ユニークな6つのプールで人気を呼び、シーズンには多くの来場者でにぎわう。
	ワンダーシャトル(レストラン)	ワンダーワールド内にあるレストラン。丼物や、自慢の自家製チャーシューがのったとんこつラーメン、カレーライスなどのメニューが揃っている。 雨天でも利用できるバーベキューコーナーもあり、気軽にランチが楽しめる。(約100席)
	海の中道駅口(サイクリングセンター)、ワンダーワールドロ(サイクリングセンター)インフォメーション	

動物の森・森の家・自然体験エリア	森の家	マツボックリやドングリ、剪定枝など、園内で採れた自然の材料を使って工作体験を楽しむことができる。
	いこいの森	クロマツ林や湿地の中に遊歩道が作られ、豊かな自然の中を散策しながら森林浴ができる。森の家を出発地として、いこいの森を探検する散策セルフプログラム「トレジャーハンティング」を楽しめる。
	野鳥の池	2カ所の観察舎からバードウォッチングが楽しめ、年間を通じてさまざまな野鳥を観察することができる。
	動物の森	「動物たちとふれあえる自然動物園」がテーマの開放的な動物園。カピバラ、カンガルー、ポリビアリス猿、フラミンゴなど約50種500点の動物がいる。
	海の中道青少年海の家	福岡市の野外活動拠点施設で、カッター教室や野外調理など、幅広い活動を行っている。
	動物の森レストハウス	館内には飲み物の自動販売機を用意しているほか、アニマルミュージアムショップでは、動物グッズやソフトクリームなどを販売している。
光と風の広場・博多湾・パノラマ広場・環境共生の森エリア	光と風の広場	「光と風」の名にふさわしく、明るく開放感あふれた広場で、博多湾や博多の街並みを一望できる。海岸線に植えられたワシントンヤシの並木は南国のリゾートを彷彿させる。
	カモ池	7haの池には、オオバン、ヒドリガモやカイツブリなど、たくさんの野鳥が飛来する。約1.5kmの池の周りはランニングやウォーキングにも最適。
	震災学習展示室	平成17年3月に発生した福岡県西方沖地震によって発生した被害のうち、原寸大模型によって再現された地割れと傾いた小屋を保存・展示し、防災学習の場を提供している。
	博多湾パノラマ広場	博多湾を挟んで福岡市街地を一望でき、様々なイベントに活用できる広大な芝生広場として、平成29年3月に新規開園した。
	ドッグラン	約5,000㎡の広さで、全ての犬が利用できる「フリーエリア」、体高40cm以下の犬のみが利用できる「小型犬エリア」、リードをつけて利用いただき、餌やりや飼い主の飲食ができる「くつろぎエリア」がある。 1回 60円/頭 年間パスポート 600円/頭
	光と風の広場 デイキャンプ場	博多湾の景色、潮風を感じながらBBQ(バーベキュー)を楽しむことができる。利用料金、営業日は別表に示す。
	環境共生の森	「ゼロからの森づくり」をコンセプトに、地域の皆さんと公園との協働で、長い年月をかけて森を育てていこうとしているエリア。
	光と風の広場口(サイクリングセンター)、カモ池口	

玄界灘エリア	シーサイドヒル シオヤ	シオヤ岬に設けられた、玄界灘を180度のパノラマで楽しめる施設。海の中道の砂浜、松林の白砂青松を一望でき、晴れの日には遠く津屋崎や相ノ島が望める。
	潮見台	玄界灘に面した砂浜を利用した開放感あふれるボードデッキの展望台。デッキからは美しい海岸線やはるかに広がる玄界灘とその島々が一望できる。 注)海浜植生保全のため、海浜部には降りることができない。
	海の松原	玄海灘に面しており、海からの強い潮風や飛砂を防ぐために、クロマツ林を育成している。また、福岡県レッドデータ2種のコウボウムギ群落や雑滅危惧種2類(環境省)のコアジサシなど豊かな海岸の動植物が見られる。海岸とクロマツの織りなす風景は、日本の白砂青松100選に選ばれている。 注)海浜植生保全のため、海浜部には降りることができない。
リゾートエリア	松毬庵(茶室)	四畳半の中央に炉の切られた本勝手形式の茶室。
	港レストハウス	館内には飲み物の自動販売機を用意しているほか博多湾「ベイサイドプレイス」や、もち「マリゾン」行きのチケット売場(うみなかライン専用)がある。
	マリンワールド 海の中道	平成29年4月にグランドオープンした水族館。展示テーマを従来の「対馬暖流」から「九州の海」に一新する。
	ホテル ザ・ルイ ガンズ	客室すべてがオーシャンビュー。眼下には紺碧のプールと緑のガーデン、その先には博多湾のオーシャンブルーが広がるリゾートホテル。
	海の中道マリー ナ&テニス	モーターボートやヨットの保管、マリンジェット、ウェイクボードが楽しめるマリーナ。テニスはオムニコート14面、ハードコート4面でログキャビンやナイター設備もあり、大会やテニススクールも開催している。





<入園料金>

区分	一般	団体
大人(15歳以上)	410円	290円
シルバー(65歳以上)	210円	210円
小人(小・中学生)	80円	50円
小学生未満	無料	無料

団体料金は小学生以上の有料入園者20名以上で適用。

身体障がい者手帳及び療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を提示された方及び付添者1名は、入園料が無料。(複写不可)

<年間パスポート>

本人に限り発行日から1年間何度でも利用できる。

区分	料金
大人(15歳以上)	4,100円
シルバー(65歳以上)	2,100円
小人(小・中学生)	800円

<年間パスポート特典>

公園の年間パスポート購入者は、各施設窓口でパスポートを提示すると、下記特典を受けることができる。

区分	特典内容
駐車料金 注)小人用パスポートでは駐車場利用料金の割引は適用なし	普通車 520円 → 420円 自動二輪車 260円 → 210円
マリンワールドの入館料金	大人 2,300円 → 1,840円 中学生 1,200円 → 960円 小学生 1,000円 → 800円 幼児 600円 → 480円

<駐車場>

区分	大型車	普通車	二輪車	障がい者用
料金	1,550円	520円	260円	無料
西駐車場	31台	1,589台	Aエリア: 30台	12台
ワンダーワールド口駐車場	5台	307台	園内各駐 車場で駐 車可能	6台
海の中道駅口駐車場	—	490台		6台
マリンワールド駐車場	18台	374台		8台
光と風の広場駐車場	7台	576台		10台
デイキャンプ場内駐車場	—	69台	—	3台
障がい者専用駐車場	2台	22台	—	—

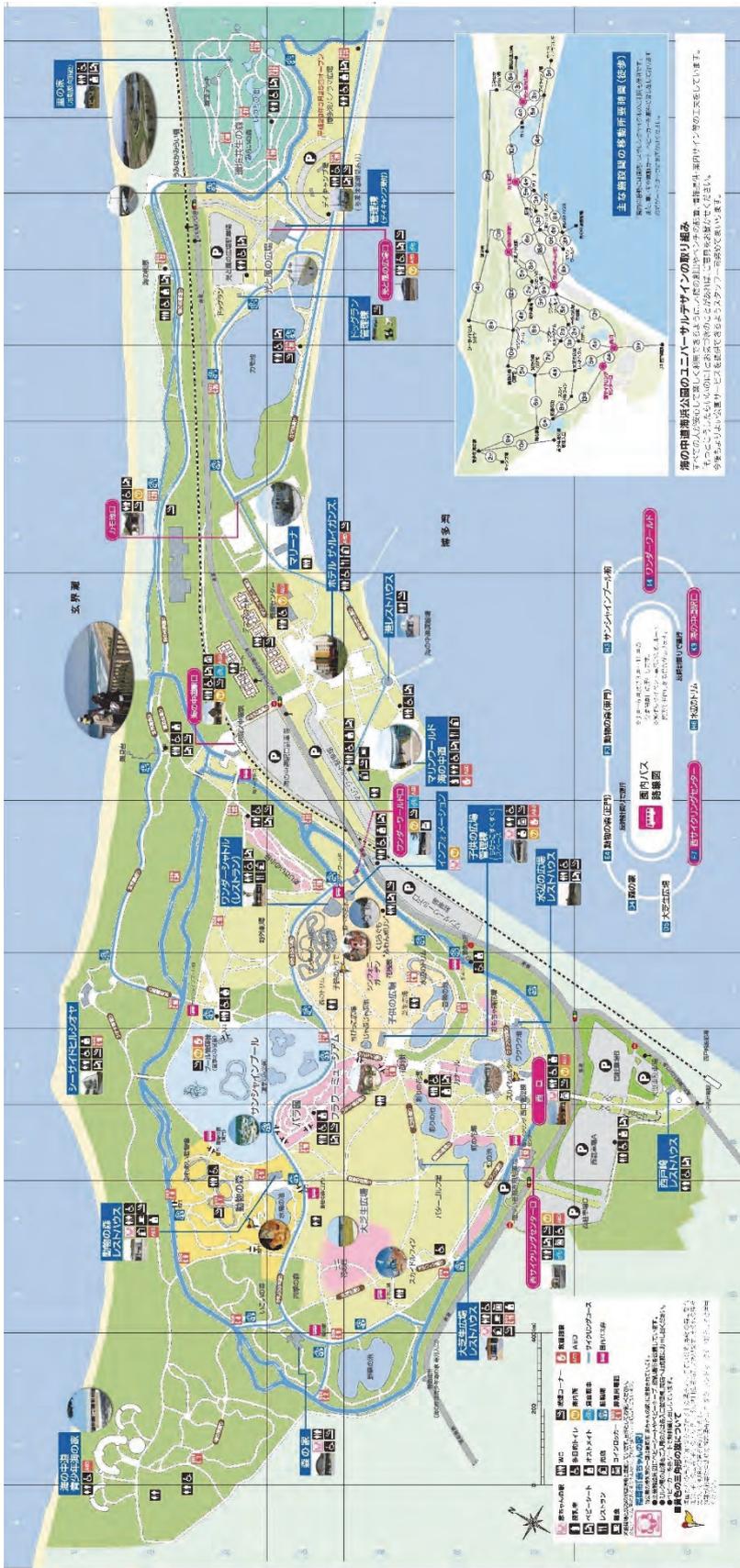
<園内バス>

区分	料金
1日フリーパス券(3歳以上一律)	500円
1乗車毎につき(3歳以上一律)	200円

2歳以下の子どもは、無料。

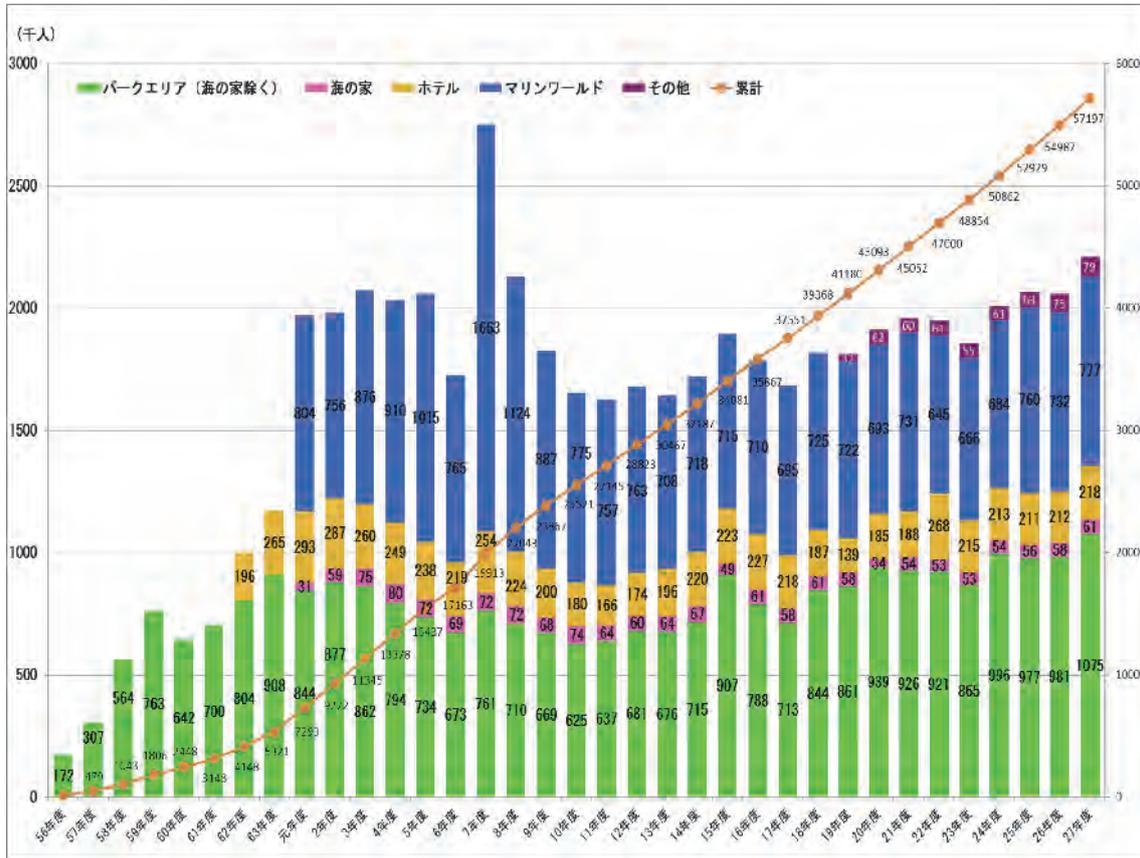
身体障がい者手帳及び療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を提示された方は、本人のみ無料。

園内図



■管理

利用者数	1,038,569人 (H26)
マスコミ報道等件数	678件 (H26)
ホームページのアクセス数	972,068件 (H26)



< ボランティア >

ボランティア名	活動内容	登録者数 (H26.4.1現在)
海の中道フラワーボランティア	○シンフォニーガーデン、フラワーミュージアム等の花壇管理作業 ○フラワーボランティア講習会に関する活動 ○園内花壇のガイドツアーに関する活動 等	36名
バラフレンズ	○バラまつりのイベントサポート ○花落としや摘蕾、剪定、土づくりなどの活動 ○公園イベントへの協力 等	21名
海の中道サポートクラブ	○遊具(昔あそび道具)の製作に関する活動 ○昔遊びの指導・実技に関する活動 ○公園イベントへの協力 等	44名

動物の森ZOOボランティア	○飼育動物の管理作業全般に関する活動 ○動物愛護に関する活動 ○公園イベントへの協力 等	34名
共生の森サポートボランティア	○環境共生の森等での環境学習活動のサポート ○森林育成・田畑活動のサポート ○共生の森サポートボランティア研修に関する活動	28名
野鳥ボランティア	○月1回の野鳥観察及び調査報告書の作成 ○本公園に生息する野鳥の保護に関する活動 ○公園イベントへの協力 等	5名
紙ヒコーキボランティア	○主催行催事「紙ヒコーキ教室」における参加者への指導・その他運営に関する活動 ○紙ヒコーキの普及に関する活動 ○公園イベントへの協力 等	13名
ディスクゴルフボランティア	○主催行催事「ディスクゴルフチャレンジ」「ディスクゴルフワールドビゲスト」における参加者への指導及びその他運営に関する活動 ○ディスクゴルフコースの管理に関する活動 ○ディスクゴルフコースの利用促進・普及に関する活動	34名
自然学びボランティア	○森の家を拠点とし、公園全体を利用する自然体験イベントの協力、企画・運営に関する活動 ○自然体験を中心とした、公園内のユニバーサルデザインイベントへの協力 ○ボランティア研修に関する活動 等	5名

<H29 重点管理項目>

植物管理

○「白砂青松」の松林育成保全

海の中道海浜公園は、国内最大級の「砂の道」の上であり、原風景をおりなす「白砂青松」の景観を守るため、これまで松枯れ対策や松林再生を推進してきた。今後も松林を後世につなぎ、「海の中道」の環境や地域住民の生活を守るため、平成32年度までの事業内容は、樹幹注入や薬剤散布、伐倒駆除といった松枯れ対策を引き続き実施する。

また、海岸林に期待される防風、防潮、防砂の機能を果たすことが可能ながっしりとした形質を有し且つ、下の方の枝にも多くの葉をつけたクロマツを育てるため適正な密度管理（本数調整）を行い、地域の資源を活かしたここにしかない美しく風格のある松林風景の創出を目指す。

なお、これらの取り組みにあたっては、引き続き市民や関係機関と連携して海浜部のクロマツ林保全・育成等の取り組みを推進する。

地域連携

- ・都市公園は、地域住民のコミュニティ形成拠点としてのポテンシャルも高く、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の確保等にも大きな効果を発揮することが期待でき、また、多種多様な自然体験や参加型のイベント等の積極的な実施を通して、自然環境保全の必要性を学ぶ場や地域づくりを支える人材育成の場としての活用も期待できるため、画一的な整備、管理運営に陥らないように各エリアに応じた整備・管理運営を推進し、NPO、地域住民及び行政が一体となり公園の多機能性を一層発揮できるような取り組みを推進する。
(多機能性の発揮)
- ・公園自体のポテンシャルを発揮するためには、公園運営に関わる人がその特性や制度等を十分に理解することが不可欠であり、公園管理者やボランティア参加者が、公園管理の視野を超えた広い視野(観光振興、各種スポーツ等)を持ちながら様々な観点から関連する分野を横断的に連携できるように取り組みを推進する。(人材育成)

施設管理

○公園環境向上の取り組み～「体験・経験の場」の確保～

平成10年に策定した「環境共生計画」に基づき、白砂青松の保全・創出、「環境共生の森」の整備、植物廃材の堆肥化や環境学習の実施等、本公園が環境教育の取り組み拠点となるように努めてきた。平成32年度までの事業内容は、「環境共生の森(みらいの森)」、B地区「森の池」、D地区「玄界灘海浜部」が一体となって美しい風景を形成し、北部九州地域における環境学習フィールドの核となる整備に取り組む。

○新たな「利活用プログラム」の推進

PFI事業により、民間の資金、経営能力、技術的能力を活用した、水族館及び宿泊施設の長期的な管理運用を推進する。水族館については、『マリンワールドPFI(株)』により平成28年4月から20年間にわたる管理運営事業が開始されており、平成29年4月のリニューアルオープンに向けて「いつも新しい私になれる水族館」をコンセプトに事業者において改修を行い、水族館の魅力向上に努める。宿泊施設については、PFI事業として管理運営を行う事業者を公募し、平成30年4月から20年間にわたる管理運営事業開始に向け、手続きを進める。事業開始後は、新たな事業者と一体となって宿泊施設の魅力向上に努める。上記以外の公園施設についても、民間活力を活用した整備・管理運営手法を検討する。

○ユニバーサルデザイン

平成19年度から有識者・学識者からなるユニバーサルデザイン検討委員会を設置し、基本理念等を決定し、平成20年度から平成24年度まで5箇年アクションプログラムを策定・実行し、トイレや休憩施設など特に早期対応が必要な施設から順次整備を進めてきた。平成32年度までは、特に利用者の立場に重点を置いたスパイラルアップを行い公園運営に携わっているすべての関係機関と協力して公園全体のユニバーサルデザインを計画的に進める。

○来園者の安全・安心の確保

開園後、35年が過ぎ、施設の老朽化が進行していく中で、利用者のニーズを踏まえて既存施設の機能保全・向上やライフサイクルコストの低減に配慮した長寿命化計画に基づいた施設更新を推進する。

○高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等動物に関わる感染症

高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等動物に関わる感染症について、「動物の森」において発生しないように常日頃から万全な自主防疫に努めるとともに、周辺地域の発生・拡大等に備え、適切かつ迅速な対応がとれるよう体制整備を進める。

環境保全

- ・NPO、地域住民及び行政が一体となり、活動できる仕組みづくりを一層進め、地球温暖化防止及び自然環境や生態系の保全・創出技術の普及啓発に努める。